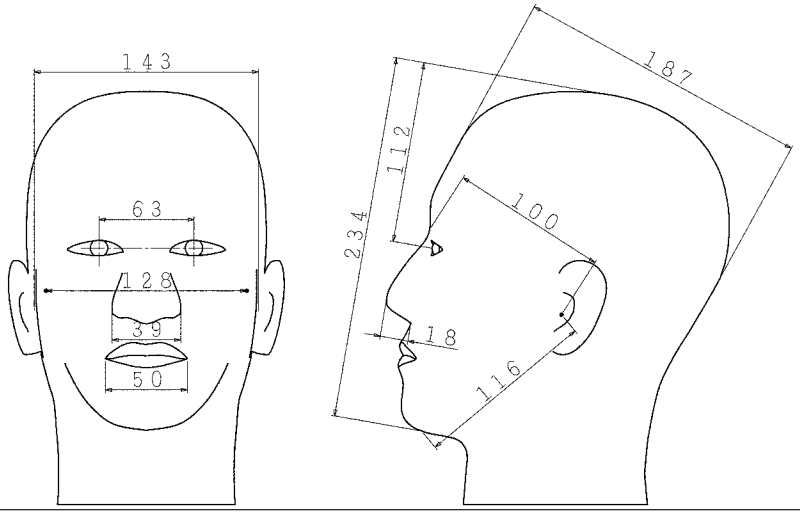
（内圧試験）（面体形に限る。）

次の図に示す寸法の試験用人頭（以下この表において「試験用人頭」という。）の顔面部に電動ファン付き呼吸用保護具を装着して気密性を確保し、試験用人頭模擬装置を接続して漏れ率試験の項第四号の表に呼吸用保護具の上欄に掲げる電動ファン付き呼吸用保護具の種類に応じて、同表の下欄に掲げる条件で作動させ、吸排気を六回行った後、引き続きこの面体の内側の圧力（以下この項及び第七条第三項において「面体内圧」という。）を一分間連続的に測定するとともに、手動により流量を調節する機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具及び最小の風量に設定した場合のそれぞれについて測定を行うものとする。

試験用人頭図（単位　ミリメートル）



（吸気抵抗試験）（面体形に限る。）

通気抵抗試験器に装着した電動ファン付き呼吸用保護具（電動ファンを停止したもの）の面体の外側から内側へ、空気を毎分四〇リットルの流量で通じた場合における内外の圧力差（以下この項において「吸気抵抗」という。）を測定する。

（排気抵抗試験）（面体形に限る。）

通気抵抗試験器に装着した電動ファン付き呼吸用保護具（電動ファンを停止したものに限る。）の面体の内側から外側へ、空気を毎分四〇リットルの流量で通じた場合における内外の圧力差（以下この項において「排気抵抗」という。）を測定する。

（排気弁の作動気密試験）（面体形に限る。）

気密試験器に排気弁を装着し、空気を毎分一リットルの流量で吸引して排気弁の閉鎖による内部の減圧状態を調べ、次に内部の圧力より一四〇パスカル低下させて放置し、放置を開始してから内部の圧力が常圧に戻るまでの時間を測定する。この場合において、気密試験器の内容積は、五〇立方センチメートルとする。

（二酸化炭素濃度上昇値試験）（面体形に限る。）

摂氏二五度プラスマイナス五度の室内において、試験用人頭の顔面部に電動ファン付き呼吸用保護具（電動ファンを停止させたもの。以下この項において同じ。）を装着した状態で、呼吸模擬装置を接続し、呼吸模擬装置により一回当たり二・〇リットルプラスマイナス〇・一リットルの空気（呼気における空気にあっては、二酸化炭素の濃度が五・〇パーセントのものとする。）を正弦波形により毎分一五回、試験用人頭を通じて吸排気させながら、吸気における二酸化炭素の濃度（以下この項において「二酸化炭素濃度」という。）が一定となるまで二酸化炭素濃度測定器により測定する。

（最低必要風量試験）（ルーズフィット形に限る。）

電動ファン付き呼吸用保護具のフード又はフェイスシールドを装着させた試験用人頭又は試験用人体模型をチャンバ内に、フード内又はフェイスシールド内に送気するための空気取入口をチャンバ外にそれぞれ設置し、これらを連結管等により接続して、チャンバ内の気圧を常圧に維持するようにチャンバ内の空気を吸引装置で吸引し、当該吸引した空気の流量（以下この項及び第七条第三項において「吸引空気流量」という。）を測定する。この場合において、手動により流量を調節する機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具にあっては、最小の風量に設定するものとする。

（騒音試験）

試験用人頭に電動ファン付き呼吸用保護具を装着し、呼吸模擬装置を接続して漏れ率試験の項第四号の表の上欄に掲げる電動ファン付き呼吸用保護具の種類に応じて、同表の下欄に掲げる条件で作動させ、試験用人頭の耳部における騒音の程度（以下この項において「騒音レベル」という。）を測定する。この場合において、手動により流量を調節する機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具にあっては、最大の風量に設定するものとする。

（吸気抵抗試験）（面体形に限る。）

通気抵抗試験器に装着した電動ファン付き呼吸用保護具（電動ファンを停止したもの）の面体の外側から内側へ、空気を毎分四〇リットルの流量で通じた場合における内外の圧力差（以下この項において「吸気抵抗」という。）を測定する。

吸気抵抗が一六〇パスカル以下であること。

面体内圧が、常に〇パスカルを超え四〇〇パスカル未満であること。

排気抵抗が八〇パスカル以下であること。

一　空気を吸引した場合に直ちに内部が減圧すること。

二　放置を開始してから内部の圧力が常圧に戻るまでの時間が一五秒以上であること。

電動ファン付き呼吸用保護具を装着した状態における一定となった二酸化炭素濃度と電動ファン付き呼吸用保護具を装着しない状態における一定となった二酸化炭素濃度の差が、二・〇パーセント以下の値であること。

吸引空気流量が、次の表の上欄に掲げる電動ファン付き呼吸用保護具の種類に応じて、それぞれ同表の下欄に掲げる最低必要風量の値以上であること。

種類	最低必要風量（リットル毎分）
通常風量形	一〇四
大風量形	一三八

左右ともに騒音レベルが八〇デシベル以下であること。